

「徳島県みどりの食料システム戦略基本計画(素案)」の概要

～「持続可能な農林水産業の実現」を目指して～

1 計画の位置づけ

背景

- (1) 地球温暖化による気候変動による作物の「生育不良」や「品質の低下」、「新たな病害虫の発生」など、国内外において「食料生産上の課題」が顕在化
- (2) 将来に亘る「食料の安定供給」の実現に向けて、GX・DX時代を捉えた新たな政策の推進が必要

対応

- (1) 国において、「みどりの食料システム戦略」が策定され、「みどりの食料システム法」が本年7月に施行
- (2) 県において、「みどりの食料システム戦略」に即応するため、同法第16条に基づき、県基本計画を策定

2 基本理念

徳島県における「持続可能な農林水産業の実現」を目指し、
 ・GX・DXによる「みどりのイノベーション」
 ・「エシカル消費」を通じて、「みどり戦略実践産地」の創出を図る。

3 計画の体系

計画期間	令和5年度～令和9年度(5年間)
策定主体	徳島県 及び 県内全24市町村



II 6つの法定事項

- (1) 環境負荷低減事業活動に関する目標
- (2) 環境負荷低減事業活動に関する事項 ～推奨類型～
- (3) 特定区域の設定に関する事項 ～有機農業～
- (4) 基盤確立事業の内容に関する事項 ～みどりのイノベーション～
- (5) 流通及び消費の促進に関する事項
- (6) その他、環境負荷低減事業活動の促進に関する事項

4 数値目標

【戦略目標】	<R12目標>	【主な関連施策目標の項目】<R9目標>
・化学農薬使用量の低減	10%低減	・エシカル農産物の生産面積
・化学肥料使用量の低減	20%低減	・畜産排泄物の再利用率
※高い「国の目標」と同水準に設定		・環境負荷低減技術開発件数 等

5 主な施策

- ### 徳島県版みどりの循環の概要
- ①「資材調達」
 - ・耕畜連携による自給飼料生産の推進
 - ・廃畜床等未利用資源の有効活用
 - ②「生産」
 - ・エシカル農業の更なる推進
 - ・品目ごとの栽培マニュアルの策定
 - ・環境負荷低減技術の開発普及
 - ③「加工・流通」
 - ・農作物の物流体系の効率化促進
 - ・再生産可能価格を実現する販売体制の構築促進
 - ④「消費」
 - ・エシカル消費の推進
 - ・学校現場での農業体験推進
 - ・県産品の給食活用による食育の推進

法定事項の概要

- ①環境負荷低減事業活動として、「推奨する類型」の設定について
 - ・化学肥料・化学農薬の使用減少の促進
 - ・温室効果ガスの排出量の削減の促進
 - ・化石燃料由来のプラスチックの使用量削減等
 - ・「バイオ炭」の施用による土壌炭素貯留の促進
- ②特定区域の設定について
 - ・有機農業を実践する区域設定の推進
- ③基盤確立事業の内容について
 - ・品種改良や低コスト機械開発などのみどりのイノベーションの推進
- ④流通及び消費の促進について
 - ・流通分野のエネルギー使用の低減
 - ・生産者との交流による食育の推進